

2022/07/11（月）

朝の礼拝

聖書 創世記 2章15節（旧約聖書3頁）

主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされた。

主のしもべ

先週の創世記1章では「すべての生き物を支配せよ」とありましたが、この2章では「人がそこ（エデンの園を）を耕し、守るようにされた」とありました。つまり自然を人間の好きなように支配してはいけないと戒めています。

「耕す」とは原語では「(奴隷として) 仕える」という意味です。仕えるのですからご主人がいます。ご主人は神様のことです。ご主人である神様の僕（しもべ）、「主のしもべ」として大地に仕え、大地を守りなさいと言っています。

だから大切なのはご主人である神様の御心を求めることです。聖書を読み、神様の御心を求め祈ることです。そのために神様は人を造り、選び、愛して、大地、自然、生き物を愛し、仕え、守りなさいと言われていています。

英和女学院は「あなたの神である主を愛しなさい。隣人を自分のように愛しなさい」というミッション（使命）を与えられています。私たちも主である神様を忘れずに、いつも御心を求め祈り、互いに愛し、共に仕える道を歩みましょう。

（しばらく黙祷しましょう）

すべてのものの造り主である神様、あなたは人をエデンの園に住まわせ、耕し、守るように言われました。どうか「主のしもべ」として歩ませてください。今、感染症が急速に広がっています。どうか罹患された方々がひと時でも早く回復の時を迎えられますように、そして感染予防に努め安全な生活を送ることができるようにしてください。また私たちがテロや戦争などの愚かな行いをひと時でも早く終え、あなたが与えられる平和の道を歩むことができるようにしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン